

5/27

海と山、愛南町の初夏の味覚に舌鼓 ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣



大人気のカツオの一本売り。浜値で販売されるカツオを手に入れようと長蛇の列ができました



5月27日、愛南町最大の食のイベント「ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣」（主催…愛南食のイベント実行委員会）が愛南漁業協同組合御荘支所周辺で開催され、家族連れなど大勢の人が訪れて、カツオや愛南ゴールドをはじめとする初夏の愛南の味覚に舌鼓を打ちました。

①愛南ゴールドの魅力を叫ぶ大声選手権②姉妹都市・篠山市の特産品も販売されました③愛南漁協の職員が作る香ばしいカツオのわら焼き④家族連れに大好評だったマリンスポーツ

今年用意されたカツオは約2千匹（3ト）。人気の一本売りのほか、刺身やわら焼きで販売されました。早朝6時前から並んだという宇和島市の兵頭敬一さんは「毎年、大きなカツオを楽しみに来ている。近所の人たちも楽しみに待っているのので、これから帰ってさっそくさばきたい」と笑顔を見せました。

メインステージでは、なーしくんをはじめとしたご当地キャラクターが大集合。昨年に引き続き海鮮プロレスもやってきて会場を沸かせました。

会場ではほかに愛南ゴールド（河内晩柑）のPR企画として「愛南ゴールド大声選手権」や若手農業者が愛南ゴールドの魅力について語るコーナーも設けられ、普段は語られることがない、生産現場のおもしろエピソードや生産者ならではの美味しい食べ方が紹介されました。汗ばむ陽気となったこの日、隣接のマリンスポーツ会場も、バナボートやカヌーを楽しむ親子連れで賑わいました。

消防技術向上を図り地域防災へ 消防操法大会



①ポンプ車の部で優勝した城辺方面隊第1分団城辺中支部②小型ポンプの部で優勝した御荘方面隊第2分団赤水支部③きびきびとした消防操法を披露する消防団

消防団員が迅速かつ的確な消防技術を習得し、住民生活の安全に資することを目的として「第31回消防操法南宇和地区大会」が南レク城辺公園多目的広場で開催され、小型ポンプの部5チーム、ポンプ車の部3チームが消防操法の正確さや速さを競いました。

グラウンドに緊張感が漂う中、大会に向けて長期間訓練を重ねてきた各チームは、指揮者の号令に合わせ見事な消防操法を披露しました。

松岡増幸^{ますゆき}愛南町消防団長は、「各支部が健闘し、気持ちの入った操法を見せてくれた。この大会を機に消防技術の向上を図り、有事の際にはその技術を地域の安心・安全に活かしてほしい」と話しました。

各部門の優勝チームは、7月29日(日)に松山市で開催される県大会に出場します。

大会結果

■小型ポンプの部

優勝 御荘方面隊第2分団赤水支部
準優勝 内海方面隊第3分団魚神山支部

■ポンプ車の部

優勝 城辺方面隊第1分団城辺中支部
準優勝 御荘方面隊第2分団中浦支部

5/
19-20

地域医療の充実を 愛大医学祭で愛南町をPR!



①カツオのわら焼きを試食する医学生
②愛南町の職員からカツオのさばき方を教わる医学生

愛

南町の地域医療の充実を目的として、「第42回愛媛大学医学祭」に愛南町ブースを設けて参加し、カツオのわら焼きや愛南ゴールドの試食を実施。大学関係者や医学部学生、来場者らに愛南町のPRを行いました。

また、愛南町で行われる地域医療に関する講演会の周知や、医師確保奨学金制度の案内なども併せて行いました。

毎年出店を楽しみにしている学生も多く、このイベントをきっかけにして愛南町で開催される講演会や研修に参加する学生も増えています。

愛南町では、地域医療の充実を図るためのPR活動として、今後同医学祭への参加を継続する予定です。

5/
20

子育てストレス軽減 「おやこであそぼう」



ミュージックケアでは、子どもたちが音楽に合わせて新聞紙を破りました

旧 菊川小学校校体育館で親子のふれあいの時間を作ることや子育て中の保護者のストレスを軽減することを目的に「おやこであそぼう」が開催され、男性保育士によるリズム遊びやいちごの里職員によるミュージックケア、ボランティアによるストライダー体験などを約50組の親子が楽しみました。

5/
21

高速道路整備の 要望を決議



四国西南地域道路整備促進協議会総会の様子

四 国西南地域道路整備促進協議会（会長 清水雅文^{まよみ}愛南町長）の平成30年度総会が御荘文化センターで開催されました。

宇和島圏域と高知県幡多圏域の10市町村の首長や関係国会議員など70人が出席し、同地域の8の字ネットワークの早期整備を国に強く要望することなどが決まりました。

6/
1

あいなんバス 由良半島で運行開始



6月1日から運行を始めたあいなんバス。毎日由良半島を4往復します

6 月1日からあいなんバスが、内海地域（本網代―柏）で運行を開始しました。あいなんバスは毎日4便が由良半島を往復します。
これまでの路線バス（宇和島自動車）は、「本網代―鳥越トンネル」間の所要時間が片道約55分でしたが、あいなんバスでは片道約35分となり、約20分短縮されます。

6/
2

空気の力すごい！ ワクワク体験教室



巨大な空気砲で打ち出された空気の輪を見上げる子どもたち

柏 小学校体育館と緑小学校体育館で、町内の小学生を対象に、「ワクワク体験教室 空気に挑戦しよう！」が開催されました。
参加者は自分たちで作った段ボール空気砲や愛媛県総合科学博物館から借りた90センチ四方の空気砲を使って実験し、楽しみながら空気の力や仕組みについて学びました。

6/
2

自転車で身につける 交通ルール



高齢者の部で安全走行テストを行う参加者。参加者は全員県大会に出場します

交 通安全こども・高齢者自転車南宇和地区大会が城辺小学校屋内運動場で開催されました。
平城小学校と城辺小学校の2校11人と高齢者3人が参加し、学科テスト、安全走行テスト、技能走行テストの3競技を行いました。採点の結果、参加者全員が県大会出場を決めました。

6/
5

2人が着任 地域おこし協力隊



地域おこし協力隊として着任した中本健仁さん（左）と林大地さん

地 域おこし協力隊として、中本健仁さんと林大地さんの2人が着任しました。
中本さんは、主に農林業分野、林さんは水産業分野で活動します。中本さんは「愛南は資源が豊富。人を呼び込めるよう活動していきたい」と話し、林さんは「情報発信や流通の活性化に力を入れたい」と抱負を語りました。



地域おこし協力隊ニュース

6/
7

愛南町の児童生徒を突然死から守る あいなんハートプロジェクト



①超音波検診を行う檜垣医師(中央)
②検診後は児童が自分の心臓位置を確かめる一幕も

学

校に通う子どもたちの突然死を

予防しようと、城辺小学校で心臓超音波検査が行われました。

これは檜垣高史(愛

媛大学地域小児・周産期学講座教授)医師が代表を務める「あいなんハートプロジェクト」が通常の心電図検査では発見できない病

気を見つけ、突然死の予測や予防に役立てることを目指して無償で

実施したものです。

「あいなんハートプロジェクト」は数年前

から県立南宇和病院に診察にきている檜垣医師が「愛南町の子ども

たちのために貢献したい」との思いで大学病院の医師らと共に立ち上げました。

検査は、町内の全小学校の1年生と全中学校の1年生全員を対象に行われます。

6/
8

ちりめん モンスターを探せ

城

辺小学校でぎよ

「チリメンモンスターを探せ」が行われました。

ぎよしよく普及事業の一環として行われたもので、この日は、1年生とその保護者が、愛媛大学南予水産研究センターの学生らが用意したちりめんじゃこの山から、イカやカニなど様々な小魚を探しました。



ちりめんモンスターを探す親子。タツノオトシゴやタチウオなども混ざっていました

6/
14

松山気象台長来庁 町へ支援施策説明

地

域防災力の強化や

県内市町への支援に取り組んでいる松山地方気象台の熊原義正台長が愛南町役場を訪問し、清水雅文町長に支援施策を説明しました。

熊原台長は、「気象情報の提供などで町を支援させていただきたい。災害対策に携わる職員に情報を有効活用してほしい」と話しました。



町への支援施策を説明した熊原義正松山地方気象台長(右)と清水雅文町長

6/15



愛南町 PR 動画
作ります

町のPR動画制作 頼んだなーし

愛

南町では今年度、町の特産品や特色ある風土をPRする動画を制作します。

この日は、制作を請け負う愛媛CATVサービスの白石成人代表取締役が愛南町役場を訪れ、なーしくん^{ななしくん}に動画制作の成功を約束しました。これから町内各地で撮影が始まります。皆さまのご協力をお願いします。



なーしくんと握手を交わす愛媛CATVサービスの白石成人代表取締役

6/25

愛南町史が完成 希望者に有償配布

合

併10周年を機に編纂を進めてきた「愛南町史」が完成しました。

愛南町の歴史の流れを歴史的にまとめた「歴史編」と、各分野の研究者による「研究編」で構成されています。希望者には有償で配布しますのでこの機会にぜひお求めください。

問合せ・生涯学習課
TEL 73-11112



希望者負担金 5,000 円（町内在住の方は 2,500 円）。生涯学習課で配布します

本日!海日和!! vol.92 「かくれんぼ名人 (サンゴの住人 その6)」

この写真を見て、どこに魚がいるのかすぐに分かる人は、かなりのお魚通だろう。ニシキフウライウオは、数も少なく、魚らしくない魚の一つである。

ニシキフウライウオは、漢字で錦・風来・魚と書く。錦のように美しく、風来坊のようにフラフラと漂っている魚という意味である。ツツノオトシゴの仲間、細長く伸びたストローのような口で、小さなエビやカニなどを吸い込んで食べている。体長は7cmと小さい上に、ヤギとそっくりな色をしているために、なかなか見つけることができない。

このように、住んでいる場所に合わせて、体



ニシキフウライウオとヤギ (サンゴの仲間)

の色や形を変化させることを擬態という。生き延びるための作戦の一つであるが、どうやってこのような色や形になったのか不思議ではない。

鮮やかな色をしたヤギには、擬態した生き物が隠れていることが多い。時間をかけてじっくり探すのも、ダイビングの楽しい宝探しである。(撮影地：横島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}